

サークル ⑤ 仲間

目の不自由な方やお年寄りに

「声の広報」をお届けしたい

朗読ボランティアグループまいまい

「朗読ボランティアグループまいまい」は、目の不自由な方やお年寄りのために、広報記事をテープに吹き込み、「声の広報」としてお届けするボランティア活動を平成12年度から旧河内町で行っています。



スピーカーから流れる心地良い音楽……。ほどなくして、女性がかたわらで読み聞かせをしているような雰囲気、季節の話題、広報の表紙や掲載内容を紹介します。カセットテープの「声の広報」は、こうして始まります。

「声の広報」は、朗読講習を受けた仲間が、目の不自由な方などにまちの様子を知らせてあげたいという思いで始めました。現在は12人のメンバーがいて、月末の企画会議、月初めの収録など、それぞれ忙しい時間をやり繰りして活動しています。丸1日掛かる収録にも、「テープを心待ちしてくれる人がいるから」と、全員がやりがいを口にします。

短歌も収録し、広報誌とは違う味わいが好評で、20人以上の利用者にテープを配っています。

「声の広報」以外にも、小学校での読み聞かせをし、今後は「対面朗読の出張サービ」スにも挑戦したい」と意欲を見せます。

メンバー全員、明るさと元気に満ちあふれている「朗読ボランティアグループまいまい」についてのお問い合わせは、代表の相澤さん（☎72-2497）まで



新天地、てんや

わんやの夫婦船

中野 勇三さん
明子さん
ご夫妻(雄勝町名振)

今回は、会社を定年後に雄勝町名振に移住し、漁業を始めた中野勇三・明子さんご夫婦を紹介いたします。

結婚して今年で39年、親同士が知り合いて妻と出会いました。長男と次男は独立し、今では夫婦二人で暮らしています。

昭和36年にトヨタ自動車に入社して以来43年間、愛知県豊田市で働いてきました。これまで会社勤めで忙しかったこともあり、定年後は、妻とともに好きなことをして暮らしてみたいと思ひ、自然が豊かで漁業が盛んな名振にやってきました。



一人で漁を始めて5年、新人漁師のはしくれとして夫婦で船に乗り込み、季節ごとのウニやアワビ、タコ、鮭など様々な獲り物に、てんやわんやしながらも二人で協力しながら挑戦を続けています。今は、苦勞して収穫した海の幸を味わうことが最高の楽しみとなっています。

みんな

良い友と共に

長寿のひけつ

⑤



成澤やへ子さん(桃生町寺崎)86歳
市川ハルコさん(桃生町新田)79歳
佐々木静子さん(桃生町新田)73歳

今月は、桃生地区で現在も見事な踊りを芸能祭などで披露している、藤間流舞踊愛好会の3人の方々をご紹介します。

(愛好会は4人で活動していますが、高橋ヒロスさんは残念ながら欠席)

3人は現役の日本舞踊の踊り手で、旧桃生町で開催していた芸能祭に毎年出演していただいております。また、町外でも踊りを披露しており、旧矢本町の航空祭や、旧牡鹿町鮎川でのパレードなど、様々なイベントにも参加しています。

3人が、日本舞踊を始めたのは、今から約30年前の昭和51年のこと。働いてばかりだったので、楽しみのために舞踊教室に参加したそうです。

現在では、なかなか踊

りを覚えることはできなくなりましたが、先生や皆さんのお話が楽しく、稽古の前日になると仕事に力が入ること。また、藤間勸恵先生いわく「日本舞踊を始めてからオシヤレにも気を配るようになり、心が若くなったように感じられる」とのことです。

「心が穏やかになりました」

「礼儀作法を学べるし、何より楽しい」と語る皆さん。これからも、お元気で美しい踊りを披露してください。



上段左から 成澤やへ子さん、市川ハルコさん
下段左から 佐々木静子さん、藤間 勸恵先生

にぎやか家族

⑤

中島字大沢入畑上

鹿妻南



(写真左から)

高橋 渉くん(6歳) 奈 緒ちゃん(5歳) か おり 香織ちゃん(10歳)

<ママから>

けんかもいっぱいするけれど、とても仲の良い3人です。これからも元気で思いやりのある3人でいてね。

<子どもたちの将来の夢>

渉くん…大工さん 奈緒ちゃん…ケーキ屋さん 香織ちゃん…習字の先生



(写真左から)

阿部 柚衣ちゃん(6歳) ゆう き 裕貴くん(9歳) かず き 和希くん(11歳)

<ママから>

市政教室や料理教室などにチャレンジする三兄弟です。何にでも好奇心を持ちのびのび育てたい。

<子どもたちの将来の夢>

和希くん…力を使う仕事 裕貴くん…レーサー 柚衣ちゃん…お金をいっぱいためたい